

科名 呼吸器内科
 対象疾患名 扁平上皮癌
 プロトコール名 キイトルーダ+Triweekly PTX+CBDCA(プロイメント併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		
2	点滴注	側管	プロイメント	150mg	30分かけて	↓		
			生理食塩液	100mL				
3	点滴注	側管	アロキシバグ	0.75mg	30分かけて	↓		
			デキサート注	3.3～19.8mg				
			ファモチジン注	20mg				
4	点滴注	側管	ネオレスタール注	10mg	30分かけて	↓		
			生理食塩液	50mL				
5	点滴注	側管	キイトルーダ	200mg/body	30分かけて	↓		
			生食	100mL	専用ルートJY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ			
6	点滴注	側管	パクリタキセル	200mg/m ²	3時間以上かけて	↓		
			生理食塩液	500mL	専用ルート使用JY-PF340P52使用 ※壊死性抗がん剤			
7	点滴注	側管	カルボプラチン	AUC6	1時間以上かけて	↓		
			生理食塩液	250mL				

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%～90%)
 day2にデカロン錠を朝、昼食後に2mg/回
 day3,4にデカロン錠を朝、昼食後に4mg/回
 4コースまで
 <パクリタキセル>
 禁忌:薬剤アレルギーの既往の多い症例,アルコール含有,アルコールアレルギーの確認要
 アレルギー好発時期:初回,2回目(投与開始から10分間はベッドサイドを離れない)
 PVCフリーかつフィルター付き(回路名:JY-PF340P52)を使用
 薬剤特徴:1mL=20滴⇒滴下数1.6倍(90滴/分×3h)
 <カルボプラチン>
 投与量計算:AUC6=6x(Ccr+25)
 アレルギー好発時期:8回目以降

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)(回路名:JY-PF340P52)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。